【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和5年9月26日(2023.9.26)

【国際公開番号】WO2021/060290
【出願番号】特願2021-548940(P2021-548940)
【国際特許分類】
Ｇ１６Ｈ 20/30(2018.01)
【ＦＩ】
Ｇ１６Ｈ 20/30

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月15日(2023.9.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザの位置に関する位置情報を取得して記憶する位置情報取得手段と、
ユーザが当該位置に到達した時刻及び当該位置での滞在時間を取得して記憶する時間情報取得手段と、
前記位置情報及び前記時間情報から、ユーザが当該位置で実施する行動を選択し、当該行動に関する行動情報を記憶する行動選択手段と、
ユーザが取得した成績に関する成績値及び成績取得時刻を含む成績情報を取得して記憶する成績情報取得手段と、
前記成績取得時刻から任意の期間遡って実施した行動が前記成績値に与える影響度を演算により求める分析手段と、
を少なくとも備え、
前記影響度が、
【数１】

$$E_{i,j} = \sum_{n=i}^{j} (T_{lag_n} \cdot \alpha_n f_n)$$

ただし、$E_{i,j}$は時刻iから時刻jまでの影響度、
T_{lag}は、 nに実施した行動から成績取得時刻までの経過時間から得られる変数、
α_nは、nに実施した行動の影響係数、
f_nは、nに実施した行動の影響関数、を示す。

と表わされる、
行動影響分析システム
【請求項２】
前記影響度と前記成績値とを比較することにより、個別の行動が成績値に与える影響を分析する、
請求項１に記載の行動影響分析システム
【請求項３】
さらに、ユーザに演算結果を提示する提示手段を備え、

前記提示手段は、前記分析手段が演算して得られた前記影響係数、及び／又は前記影響度をユーザに提示する、請求項１又は２に記載の行動影響分析システム
【請求項４】
前記分析手段は、任意の期間に実施した行動から求められる影響度から、ユーザが次に取得する成績の予測値を演算する、請求項１～３いずれか一項に記載の行動影響分析システム
【請求項５】
前記行動情報には、行動に紐付された前記位置情報及び前記時間情報が少なくとも含まれ、
前記行動選択手段は、新たに取得された位置情報及び時間情報と、過去記憶された位置情報及び時間情報とを比較し、過去記憶された位置情報及び時間情報の中から、近似する位置情報及び時間情報に紐付けられた行動を選択し、当該行動に関する行動情報を記憶する、
請求項１～４いずれか一項に記載の行動影響分析システム
【請求項６】
前記行動選択手段は、前記近似する位置情報及び時間情報に紐付けられた行動が複数存在した場合に、ユーザに対して当該複数の行動を選択肢として提示し、ユーザが選択した行動に関する行動情報を記憶する、
請求項５に記載の行動影響分析システム
【請求項７】
複数のユーザの行動情報、及び該ユーザの属性情報が記憶され、
前記行動情報には、行動に紐付された前記位置情報及び前記時間情報が少なくとも含まれ、
前記行動選択手段は、新たに取得された位置情報及び時間情報と、ユーザと共通の属性情報を有する別のユーザの過去の行動に紐付けされた位置情報及び時間情報とを比較し、ユーザと共通の属性情報を有する別のユーザの過去の行動に紐付けされた位置情報及び時間情報の中から、近似する位置情報及び時間情報に紐付けられた行動を選択し、当該行動に関する行動情報を記憶する、
請求項１～６いずれか一項に記載の行動影響分析システム
【請求項８】
ユーザの位置に関する位置情報を取得して記憶する位置情報を取得するステップと、
ユーザが当該位置に到達した時刻及び当該位置での滞在時間を取得して記憶する時間情報を取得するステップと、
前記位置情報及び前記時間情報から、ユーザが当該位置で実施する行動を選択し、当該行動に関する行動情報を記憶する行動を選択するステップと、
ユーザが取得した成績に関する成績値及び成績取得時刻を含む成績情報を取得して記憶する成績情報を取得するステップと、
前記成績取得時刻から任意の期間遡って実施した行動が前記成績値に与える影響度を演算により求めるステップと、
をコンピュータに実行させ、
前記影響度が、
【数１】

$$E_{i,j} = \sum_{n=i}^{j} (T_{lag_n} \cdot \alpha_n f_n)$$

ただし、$E_{i,j}$は時刻iから時刻jまでの影響度、
T_{lag}は、 nに実施した行動から成績取得時刻までの経過時間から得られる変数、
α_nは、nに実施した行動の影響係数、
f_nは、nに実施した行動の影響関数、を示す。

と表わされる、
行動影響分析プログラム
【請求項９】
コンピュータが実行する行動影響分析方法であって、
ユーザの位置に関する位置情報を取得して記憶する位置情報を取得するステップと、
ユーザが当該位置に到達した時刻及び当該位置での滞在時間を取得して記憶する時間情報を取得するステップと、
前記位置情報及び前記時間情報から、ユーザが当該位置で実施する行動を選択し、当該行動に関する行動情報を記憶する行動を選択するステップと、
ユーザが取得した成績に関する成績値及び成績取得時刻を含む成績情報を取得して記憶する成績情報を取得するステップと、
前記成績取得時刻から任意の期間遡って実施した行動が前記成績値に与える影響度を演算により求めるステップと、
を含み、
前記影響度が、
【数１】

$$E_{i,j} = \sum_{n=i}^{j} (T_{lag_n} \cdot \alpha_n f_n)$$

ただし、$E_{i,j}$は時刻iから時刻jまでの影響度、
T_{lag}は、 nに実施した行動から成績取得時刻までの経過時間から得られる変数、
α_nは、nに実施した行動の影響係数、
f_nは、nに実施した行動の影響関数、を示す。

と表わされる、
行動影響分析方法